

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した取組、その他の対策事例の紹介をします。

今回の紹介地区 No.059 ほしやま
和歌山県 かつらぎ町 星山地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積 19ha、うち耕作放棄地 0.9ha
 放棄の理由：高齢化による労働力不足、有害鳥獣による被害
 荒廃の程度：灌木の伐採、除根、整地が必要

取組概要

対象面積：0.89ha(畑)
 実施期間：平成22年1月～3月
 取組のきっかけ：地域協議会が12月に農家の代表者に対して本制度の説明を行ったところ、規模拡大の意向がある農家が申し出て取り組みが具体化
 調整経緯：地域協議会が、地権者と利用者との調整を行った
 取組主体：近傍農業者(使用貸借)(作物：ユズ、ブドウ、梅)
 作業内容：灌木の伐採、除根、整地等

今後の予定

再生作業後、H22年3月にユズ、ブドウの定植(0.52ha)を行い栽培の開始。今後、再生園地に梅の定植(0.37ha)を行うため、土壌改良や緑肥作物の栽培等を予定。



再生作業前



作業実施中



再生作業後

ちんとうなかのだい

今回の紹介地区 No.060 山口県 萩市 萩市椿東中ノ台地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積 10ha、うち耕作放棄地 4ha

放棄の理由：農地所有者の破産により差押物件となり、長年耕作放棄の状態

荒廃の程度：雑草・樹木の繁茂に加え、不法投棄物が散乱しており人力、農業用機械、重機による再生作業及び廃棄物の撤去作業が必要

取組概要

対象面積：0.38ha(畑)

実施期間：平成21年9月6日～平成22年3月27日

取組のきっかけ：市と農業委員会により利用者の調査・斡旋に取り組んだ結果、市外からの新規就農希望者が現れ、農業委員会が中心となり土地調整を実施、本対策に取り組むこととなった

調整経緯：市と農業委員会が、斡旋可能な農地を把握、管財人を介して新規就農者へ斡旋、農地の取得が可能となり本対策の実施に至る

取組主体：新規就農者(予定作物：柑橘類、麦)

作業内容：雑草や樹木の刈払・処分、整地、土壌改良、営農定着

今後の予定

平成21年9月上旬から平成22年3月下旬に再生作業、土壌改良(肥料投入)を実施し、柑橘類や麦を作付け。収穫物は消費者に直販



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後(営農定着後)

問い合わせ先：あぶらんど萩地域担い手育成総合支援協議会 0838-25-4191 (萩市農政課)

おおがた

今回の紹介地区 No.061 高知県 黒潮町 大方地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

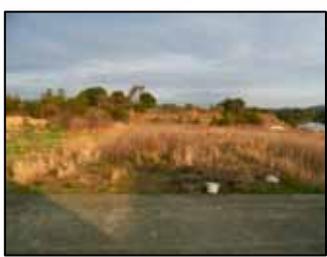
地区概要 : 農地面積 488ha、うち耕作放棄地 45.7ha
放棄の理由 : 農産物価格の低迷と農業者の高齢化に伴う労働力不足や、鳥獣被害等
荒廃の程度 : 雑草の繁茂や不要となったハウスが放置された状態であり、人力、農業用機械による作業のほか、重機を用いた作業が必要

取組概要

対象面積 : 1.16 ha(畑)
実施期間 : 平成22年3月18日 ~ 平成22年3月25日
取組のきっかけ : 町が特産品としてサトウキビの栽培に力を入れようとしていたところ、県内産のサトウキビを使った商品を開発・販売しようとしていた菊水酒造(株)とのマッチングが図ることができ、農業委員会の地区委員と町が中心となり、地権者と協議し、同意が得られたことから本対策の取組が始まった
調整経緯 : 農業委員会と町が協力し、ほ場整備した農地を中心に地権者へ協議を行い利用権設定を行った。
取組主体 : 菊水酒造(株)(認定農業者)(予定作物:サトウキビ)
作業内容 : 雑草や樹木の刈払、整地、土壌改良、施設補完等整備(ハウス撤去)

今後の予定

平成22年3月に再生作業、土壌改良を実施。既に耕作放棄地を解消した農地で栽培されたサトウキビは酒類やサトウキビ酢等商品化されており、販売も好調で今後は新たな商品開発及び顧客拡大に力を入れていく予定。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先: 黒潮町担い手育成総合支援協議会 0880-43-1888 (黒潮町農業振興課)